

東京 2020 大会の輸送を安全・円滑に行うための 基本的な考え方(案)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会において、輸送インフラを賢く使い安全かつ円滑な輸送を実現するため、以下の5つの基本原則を定める。

基本原則1:〔より良い交通環境下における大会輸送と都市活動の両立〕

全ての市民と関係機関の理解と協力の下、障がい者や高齢者、外国人など多様な人々にも対応したより良い交通環境を整備するとともに、大会関係者や観客の円滑な輸送と、物流を含めた都市活動の安定の両立を図る

基本原則2:〔交通需要マネジメント〕

道路や公共交通の利用者に対し、充実した情報の提供など様々な手段で働きかけ、交通需要を適切に抑えた賢い交通行動を促進する

基本原則3:〔道路の交通システムマネジメント〕

道路交通に関するあらゆる技術・制度・手法を駆使しつつ、交通の需給関係を高度に管理する効率的な交通システムマネジメントを案出、実施する

基本原則4:〔入念な準備と柔軟な対応〕

事前の機会を最大限活用して試行運用を行い、輸送運営について必要な調整や見直しをするとともに、期間中においても柔軟な対応を行う

基本原則5:〔レガシーの提起と継承〕

総合的かつ先端的な交通マネジメントを展開し、大都市を始めとする将来の都市交通に関するレガシーを世界に向けて提起、継承する